

(本 社) 甲府市増坪町74	TEL055-241-3151 FAX055-241-8530
(営業所) 上野原市新田661	TEL0554-62-3321 FAX0554-62-3322

早春の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
毎度弊社をご利用頂き有り難うございます。
さて、今月号は現場『切断倉庫部』より発行させて頂きます。(切断倉庫部 赤木)

＜編集者＞

塚原 佳由
望月 博隆
村松 貴
赤木 健三
山田 幸平

鋼種 Q & A ~ 現場より研修レポート ~

今回は、切断機についてお話をさせて頂きます。

先日、切断機メーカーさんに新作の機械と工場見学をさせて頂きました。

まず、驚いたのは安全に対しての設計という事で、徹底して行われていたことです。操作する側からするとやや遣り難いような気も……。しかし安全作業という面では仕方ないのかなと感じました。従来の機械と動きはそう変わりはないものの操作方法や新たな機能が多く付いていたのにも驚きました。

切断スピードのアップ、操作のし易さ、作業の効率アップ、作業者の安全……。メーカーさんも色々と改善されておりました。お客様からの意見により、改善、改善……。

私たちも見習わなければいけない所だと改めて感じました。その後工場見学という事で旧工場から新工場まで見学させて頂きました。さまざまな機械を見せて頂きましたが、どれもお客様のお困りごとを解決したいという想いがこもっている様に感じました。

見学が終わった後は、切断機について設計者の方と使用する側として改善して欲しいところなど、打ち合わせをさせて頂きました。使用者の意見をしっかり聞いて頂き、真剣に考えて改善が可能か検討して頂きました。とても良い話し合いが出来たと思っております。

今回見学を終えて感じたことは、仕事内容は違ってもしっかりお客様のことを第一に考えてやられてるところ、そして日々改善をされているところなど、私共も見習わなければいけないところが沢山ありとても勉強になりました。

今後もこの経験を活かし、日々『お客様の為に』を念頭において努力して参ります。



★社長のワンポイント★

いよいよ就活活動が始まり、3月は企業説明会解禁となります。大学生の皆さんは一斉に活動を始め内定をいくつかの企業からいただくというパターン。現在は何の業界でも人がいない、募集しても来てもらえない、大手に就職が決まって中小企業が厳しいよ・・・そんな声を良く聞きます。私達が属している中小企業の法則があって私が師事しております、田舞徳太郎さんが良く言っておられる、1対2対7の法則は、1=10%の企業は業績もよく、人も育ち、今後益々成長していく。2=20%の企業は、好不況に大きな影響を受けて業績が安定しません。黒字になったり、赤字になっていたりします。人の問題を抱えます。

7=70%の企業は、好況であろうと業績が悪く、万年苦勞し続けます。人が育たず、人も集らずで、7割赤字が実態としてあるのですと良く言っておられます。要するに1のところにいくかと言うことなんですが、知恵出して行動して工夫して、しっかり社風を創り出していったところにだけ良き人材がくると……。当社でも51期に入り60年目をどのように通過していくのかと言う事を経営発表の中で、社員さん幹部さん達にお伝えいたしました。人材→人財に変えていく努力を今年から再度取り組んで、良き社風を創り出し、良き対応が出来る仕組みを構築したいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

★国中エリア 塚原★

インフルエンザが2月中旬になっても依然として流行っております。手洗い、うがいを日々実践して仕事に支障が出ないように気を付けて下さい。

2月の国中状況ですが、いまだに半導体が主軸となりそれに伴い関連部品などの製造が好調のようです。半導体企業では9月の内示も出ており、年末までの稼働は好調のまま続く聞いております。自動車、トラック関連でも稼働率が100%を超えている企業もあるようで労働時間などの調整を余儀なくされています。切削機械メーカーでは、装置に使うLMガイド、ボールネジの納品が3ヶ月以上掛かっているとの話もあり、納品出来る期日が先送りになっているようです。東京オリンピックまで後2年となりました。半導体バブルもいつか終わります、今のうちに次の事を考えながら行動し、皆様に喜んで頂ける情報を発信して行きたいと考えております。

★郡内エリア 望月★

インフルエンザAとBが両方流行っております。1医院54人の患者がいる計算だそうです。人ごみに行く際、マスクなど対策するようにしてください。

2月の郡内の動向ですが、半導体系が好調です。郡内では支給材が多いのですが、工場内に材料が溢れている所がありました。4月にはさらに加工数が増えるとのこと。工作機械系も好調をキープしておりますが、LMガイド、ボールネジ不足による納期遅れが出ています。これは県外の機械メーカーも同じで不足している分、組み立てが出来ず、歩留まりが悪くなる悪循環に陥る事態になりかねないそうです。トラック系はメーカーによってひらきがあり、国中、上野原地区はH社なので好調ですが、他のメーカーは普通か少なくなっているといった感じでした。食品関係は以前より動きが出てきました。ヒートシンク、アルミダイカスト系は数が多く好調のようです。今まで好調だったお客様に落ちつき感ができており、逆に普通だった所が忙しくなっていると交互的な部分があります。好調な部分が目立ちますが、他の製造業は驚くほど忙しさが無いのも現状です。今後の動向に注意して情報を収集していき皆様に報告して行きたいと思っております。

★上野原エリア 山田★

花粉症が厳しく乾燥状態が続き寒さも難しい季節ですが、くれぐれも体調管理には気を付けて頂きたいと思っております。

2月の動向ですが半導体関係が高稼働をキープしており、特にアルミ関係の加工が忙しいようです。お客様によっては年内の内示も出ているとの情報も伺いましたしこの調子で高稼働のまま推移して行きそうです。トラック関係も好調な動きをキープしているようです。医療機関係が多少調整になっている様子でした。それ以外の所でも比較的好調に動いているようです。

東京、埼玉、神奈川方面でも上野原エリアと同様に半導体関係が非常に忙しいとの事でした。部署によっては交代制などで加工を行っていますし、機械の導入なども行っているそうです。

両エリア共半導体関係が引っ張っていますが、この状態がいつまで続くのかも気になります。しっかりと情報を集めて皆様にお伝えして行きたいと思っております。

～ 金屋子神 ～

火を扱い製鉄・鍛冶・鋳物などを生業とする人々が、その守護神として祀っている「金屋子神」は、伝えによれば、高天原から播磨国志相郡岩鍋（兵庫県宍粟郡千種町岩野辺）の地に天降って、鍋・釜など鉄器鋳造の技術を伝授し、さらに「吾は西方を主る神なれば西方に赴かば良き宮居あらん」と白鷺に乗って出雲国能義郡比田村黒田の奥にあった桂の木（備中・吉備の中山あるいは伯耆の印賀）の枝に飛来した（備中・吉備の中山あるいは伯耆の印賀を經由したとの伝承もある）。ここで、安部氏に出会い、「吾は金屋子神なり、今より此処に宮居し、踏輪を立、鉄吹術を始むべし」と宣言して製鉄法を伝授したのち、その地に祀られたとされている。

金屋子神社の勧請年代は不明であるが15世紀末に当地の戦国武将尼子経久が幣田を寄進した記録がみえる。また、たたらに技術的な改良がなされ生産量が増大し、山内と呼ばれる高殿を中心とした集落が形成される時期、(寛政3年：1791年)の奉加帳によると、その信仰は、安芸、備後、美作、播磨、伯耆、出雲、石見など七カ国に及んでいる。

金屋子神は、「鉄山秘書・金屋子祭文」によれば、金屋子神、金山彦神、天目一箇神の三神同一神とされる。また、「金屋子縁起抄」では、金山彦命、金山媛命を両親とする子神で、この三柱を合して金屋子大明神としている。その他、八幡神、卓素、天日槍、須佐之男命、稲荷神などの諸説あり、その神格・系譜については判然としないが、通常は女神とされ、伝わる神像図も女神が多い。



金屋子神社本殿と白鷺に乗って飛来する金屋子神（松本春々筆：「玉鋼縁起」絵巻より）

各高殿では神棚を設け、金屋子神社から分霊して祀り、たたらは操業が安全で、収穫が多いこと、さらに、不調のときには呪力によって正常に戻してもらえるように念じ、それが現実となった伝承は多い。したがって、その祈りは切実で、操業が不調となれば、村下は雪中もいとわず裸足参りをおこなったと伝えられている。また、金屋子神社の神主も崇拝の対象とされたとする伝承は、時には神の力を受けて、自ら技術指導をおこなっていたことをうかがわせます。

また、金屋子神は、直接たたら製鉄に従事する人々だけのものでなく、炭焼きや砂鉄採集、村里の鍛冶や鋳物の工房、さらには鉄や関連物資の輸送・販売に携わる業者なども祠や神像の掛け軸、お札を奉ったりして、たたらという産業が、地域の人びとの生活に大きな影響を与えるものであったようです。

ところで、金屋子神に関連しては、いろいろの珍しい禁忌（タブー）があるので紹介します。

「金屋子さんは犬と藁、麻が嫌い、藤が好き」：鳥取県日野郡では、金屋子さんが桂の木に天降りされた時、犬に吠えられ藁を伝って逃げられたが藁が切れたので犬に噛まれて亡くなった。島根県飯石郡では藁の代わりに麻苧に絡まって亡くなった。仁多郡では藁が切れたが、藤に掴まって助かった、などの伝説があります。神とは言いながら何とも人間臭いユーモラスな話です。そんな訳でたたら場の中には犬を入れない、たたらは道具に麻苧を用いないと言います。

その他、「金屋子さんは女嫌い」：金屋子さんは女神なので（醜女との説もあり）女を嫌い、たたら場は女人禁制であった。「金屋子さんは死体が好き」：鉄がどうしても湧かないときは押立て柱に死体を立て掛けたり（仁多郡）、安芸・山県郡では人が死ぬとたたら場で棺桶を作ったそうですし、備後・双三郡では葬式が出ると、棺桶を担いでたたら場の周りを歩いて回ったそうです。